

平成30年度学校経営計画

東京都立武蔵野北高等学校長
伊 東 龍 司

I 目指す学校

<教育目標>

- 1 くじけぬ心とたくましい体を鍛える
- 2 高い知性と豊かな情操を養う
- 3 自律・互敬の精神を培う

<目指す学校像>

- 「より高い目標と夢に向かってチャレンジできる学校」
 - 「2020に向けてチャレンジできる学校」
- 1 確かな学力、心身共に健康な体力を身に付ける学校
 - 2 高い目標を目指して挑戦し、実社会で逞しく生き抜く力を磨く学校
 - 3 未来を切り拓く力を身に付け、グローバル社会で活躍できる生徒を育成する学校

II 中期的目標と方策

<目 標>

- 1 生徒の高いレベルの学力定着を図り、第一志望達成率の向上を図る。
- 2 部活動及び学校行事等の活性化を図る。
- 3 社会人として通用する規範意識の確立を図る。
- 4 2020年に向けた生徒像を明確にする。
- 5 組織的な広報活動の充実を図る。

<方 策>

- 1 教科指導力・授業力向上を図り、きめ細かい指導とデータ分析、及び定点観測による進路指導を行う。
- 2 部活動や行事において、努力することの大切さや達成感を体感させ、仲間への連帯感や学校への帰属意識を育成する。
- 3 あらゆる機会を通して、社会人として通用するマナー、規範意識を身に付けさせる。
- 4 国際理解教育を充実させ、グローバル人材を育成する。
- 5 保護者・地域及び中学校等に対して教育活動を積極的に情報発信し、募集対策の充実を図る。

Ⅲ 今年度の取組目標と方策

1 学習指導

<目標>

高い学力の定着と、教員の教科指導力向上

<方策>

- (1) 教科指導力の向上を図り、5-7センター受験率を高めるとともに、難関大学にも果敢にチャレンジできる学力を身に付けさせる。
- (2) 大学入試改革を見据えた研究・開発を行う。
- (3) 考査・実力テスト、外部模試や授業評価を基に、教科としての課題を明確にし、補習・講習を組織的に実施する。
- (4) 自習室、自習机等の活用を図り、自学自習を定着させる。
- (5) 英語教育推進校、姉妹校推進校、TEEP実施校として、ALTやJETを活用して、「使える英語」「生きた英語」を身に付けさせる。
- (6) グループによる教員相互の授業参観を行い、授業改善に向けた校内研修を実施する。

2 進路指導

<目標>

高い志をもった第一志望（生き先）の進路実現

<方策>

- (1) 生徒が第一志望にチャレンジできる、3年間を見据えた進路指導体制を確立する。
- (2) 個別面談、3者面談(全員実施)の充実を図り、生徒一人一人に応じたきめ細かい進路指導を行う。
- (3) 迅速なデータ検証を基に、分析会・ケース会議を実施し、教科指導の改善、指導に反映させる。
- (4) 進路講演会や訪問授業等を実施し、進路実現に向けた生徒の内発的動機付けを促す。
- (5) 教科毎に、組織的な長期休業中の講習を実施し、生徒の軸足を学校に置いた指導を行う。
- (6) 自習室、学習コーナー及び進路指導室の充実を図る。
- (7) スプリングセミナー、語学研修を通して視野を広げ、夢に向かって自分のやるべきことを身に付ける

3 生活指導

<目標>

社会人としての規範意識の涵養

<方策>

- (1) 学校全体で、「挨拶」「時間厳守」等、社会人として通用するマナー、ルールを身に付けさせる。
- (2) 校内清掃を徹底し、教育環境整備に取り組む。
- (3) 自転車の交通ルール・マナー指導を徹底するとともに、危険回避能力を育成する。
- (4) 体罰根絶、いじめの未然防止、早期発見・対応を行う。
- (5) スクールカウンセラーと連携した教育相談体制を充実させる。
- (6) 防災教育の充実を図り、「自助」「共助」の精神を養う。
- (7) 生徒の知的好奇心を醸成するために、読書活動を奨励する。

4 特別活動・部活動

<目標>

学校行事、部活動の活性化

<方策>

- (1) 感動的な学校行事への取組みをとおして、自主的、主体的な活動を推進する。
- (2) 部活動休養日を設定した部活動指導方針を明確にし、計画的かつ体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動で、生徒の個性を磨く。
- (3) 部活動指導員及び外部指導員を活用し、部活動指導の効率的なシステムを整備する。
- (4) 東京2020オリンピック・パラリンピック後のレガシーを見据えた取組を行う。
- (5) 薬物乱用防止やセーフティ教室等を通して、心身共に健全な生徒の育成を図る。
- (6) 行事の精選を行い、部活動と学習活動をバランスよく両立させる。

5 募集・広報活動

<目 標>

積極的な情報発信

<方 策>

- (1) ホームページで、日常の教育活動をタイムリーに情報発信する。
- (2) 過去の地区別入学生のデータを分析し、その結果を基に戦略的な中学校・塾訪問を行う。
- (3) 近隣地域との交流を積極的に行い、本校の良さや特色をPRするとともに存在感を高める。
- (4) 校内・外における学校説明会、塾訪問及び学校見学会、授業公開を充実させる。

6 学校経営・組織体制

<目 標>

経営参画意識と協働意識の醸成

<方 策>

- (1) 期待される「進学指導推進校」として、組織的に学習、進学指導の充実を図る。
- (2) TAIMS 掲示板、NAS を有効活用し、迅速な情報共有を行う。
- (3) 経営企画室の業務進行管理と合理化を徹底し、経営参画型の経営企画室として機能させる。
- (4) 主幹会議、企画調整会議、職員会議等、各会議の運営改善及び業務の効率化を図る。
- (5) プロジェクトチームで、5年・10年先のムサキタを見据えた組織づくりを行う。
- (6) 部活動指導実施体制の組織化を行う。

IV 今年度の重点目標

重点目標	数値目標
1 学習・進学指導の充実	
①授業満足度	90%以上 (43%)
②5-7センター受験率	45%以上 (42%)
③国公立大学合格者	65名以上 (64名)
④難関私立大学合格者	40名以上 (35名)
⑤GMARCH合格者	200名以上 (192名)
2 部活動・特別活動の推進	
①学校満足度	90%以上 (89.5%)
②行事満足度	90%以上 (90.5%)
③部活動加入率	95%以上 (95%)
3 国際理解教育推進	
①国際理解教育満足度	80%以上 (75%)
4 学校広報活動の充実	
①学校説明会参加者	2000名以上 (1800名)
②中学校・塾訪問	250校以上 (200校)
③入学選抜応募倍率 (推薦)	男子：2.5以上 (2.08) 女子：4.5以上 (4.09)
(一般)	男子：1.5以上 (1.46) 女子：1.8以上 (1.67)
※ ()内は昨年度の数値	